

令和4年度事業報告書

「花と緑の元気とやま創造プラン」に基づき「花と緑と人が輝く元気とやまの創造」を目標に、県民総参加による花と緑の県づくりを「花と緑をはぐくむ」「花と緑にふれあう」「花と緑をすすめる」の3つの柱のもとに推進した。

また、県の指定管理施設である富山県中央植物園及び県民公園頼成の森の適切な運営管理に努めた。

I 銀行事業（公益目的事業1）

60,095,200円

1 花と緑をはぐくむ事業

44,953,000円

(1) 花と緑の地域づくり事業

24,536,000円

ア 花の種苗配布事業

緑化グループや身近な施設等へ夏花壇用草花苗や秋植え球根を配布し、地域の特色を生かした花づくりを推進した。

・夏花壇用プラグ苗	マリーゴールドなど 28種	273,667株
・夏花壇用ポット苗	サルビアなど 41種	201,523株
・秋植球根	チューリップなど 4種	173,904球

イ 緑化木配布事業

住民の憩いの場になっている花壇等において、緑のボリュームアップのための緑化や、緑化行事において緑化木を配布し、地域の特色を生かした緑づくりを推進した。

・支店緑化運動苗木配布	10市町	34種	1,226本
・寄贈を受けた苗木配布	氷見市、小矢部市等に配布		102本

(2) 地域の花づくり推進事業

4,035,000円

ア 花壇造成事業

枕木や石などを使った自然風花壇の新規造成及び改良を促進した。

高岡市伏木コミュニティセンター花壇など 9カ所(7支店)

イ 土壌改良事業

再生資源の利用を図りながら、花壇やプランターの土づくりを推進した。

南砺市福野地区など 463カ所(8支店)

- (3) 学校緑化促進事業 638,000 円
 学校での緑化活動を通じ、緑化意識の高揚を図るとともに、良好な学習環境づくりを推進した。
 ・チューリップの学級づくり 786 学級
- (4) 支店活動支援事業 13,934,000 円
 花と緑に関する各種コンクールの実施や地方銀行の活動促進のための各種研修の開催など、支店主体の事業展開及び地方銀行からの要望に添った緑化活動を推進した。
 15 支店
- (5) おもてなしフラワー事業 145,000 円
 北陸新幹線の開業等に伴い、観光地等を花で飾り、訪れた方により良い印象を持っていただくために、フラワーポットの維持管理に対して支援した。
 ・維持管理（3年目以降）
 南砺市 菅沼集落、魚津市 魚津駅前周辺 2カ所（2支店）
- (6) **新**花で飾るフォトスポット in 富山湾岸サイクリングコース事業 1,665,000 円
 「ナショナルサイクルルート」に指定された「富山湾岸サイクリングコース」のサイクルステーション周辺に、県を代表するチューリップを中心としたフラワーポットを設置し、花と緑に彩られた快適な環境づくりを促進するとともに、花壇のリフレッシュや、指導者の花壇維持管理技術のスキルアップを図った。
 ・フォトスポット設置事業
 富山市 岩瀬浜駅、魚津市 海の駅蜃気楼、氷見市 ひみ番屋街 3カ所（3支店）
 ・花壇リフレッシュ事業
 黒部市名水公園など 6カ所（5支店）
 ・指導者スキルアップ事業
 富山市 岩瀬浜駅、魚津市 海の駅蜃気楼、氷見市 ひみ番屋街 3カ所（3支店）

以上（1）～（6）の事業については、支店への交付金事業として実施。

2 花と緑にふれあう事業

8,828,200 円

普及啓発事業

8,828,200 円

ア 花と緑の各種コンクールの実施

花と緑を活かした美しい地域づくりを推進するために、花と緑の各種コンクールを実施した。

(ア) 富山県花のまちづくりコンクール

・学校花壇の部

最優秀賞 黒部市 若栗小学校など 応募 24 校

・幼稚園・保育所花壇の部

最優秀賞 富山市 新庄保育所など 応募 18 施設

・プレミアム花壇の部

最優秀賞 射水市 小杉花づくり同好会など 応募 8 団体

・一般花壇の部

最優秀賞 南砺市 北部花緑愛好会など 応募 123 団体

・花の道の部

最優秀賞 砺波市 五ヶみちグループなど 応募 26 団体

(イ) 花と緑のポスター原画、標語コンクール

・ポスター原画の部 谷井知歩(氷見市 比美乃江小学校)など 応募 3,607 点

・標語の部 奥井愛琉(富山市 大久保小学校)など 応募 1,184 点

<花と緑のコンクール参加状況>

コンクール部門	H30	R1	R2	R3	R4	開始年度
学校花壇	33	29	20	25	24	S49～
幼稚園・保育所花壇	30	22	16	17	18	H5～
プレミアム花壇	6	9	8	8	8	R 元～ (H30 まではモデル花壇)
一般花壇	190	168	125	129	123	S59～
花の道	37	36	25	29	26	H11～
花と緑のポスター原画	2,704	2,882	1087	3,605	3,607	S48～
花と緑の標語	534	975	575	618	1,184	S50～

イ 「令和4年度花とみどり・ふれあいフェア」の開催

県民生活に、花と緑を活用した彩り豊かで潤いと安らぎのある生活スタイルを提案するとともに、県民の緑化意識の高揚を図るイベントを開催した。

イベントでは、マスクの着用やアルコール消毒など、新型コロナウイルス感染症対策に努めながら、花と緑の活用の体験教室、花と緑の展示などを行った。

令和5年2月18日（土）～2月19日（日）

富山市 ファボーレ 参加者数 約 31,120 人

主な内容

(ア) 各種コンテストの実施

私の寄せ植えは、広く一般から募集し、年末、正月から春先まで庭先・玄関を花と緑で飾る方法の一つとして実施した。

コンテナガーデンは、地域緑化の指導者として活動している頭取・グリーンキーパーの日頃の活動の成果を発表する機会として実施した。

- ・ 私の寄せ植え（小型・プランター部門）

一般県民からの応募作品・・・ 25 点

（入賞作品内訳：最優秀賞 1 点、優秀賞 2 点、新人賞 1 点、佳作 4 点）

- ・ コンテナガーデン（大型部門）

花と緑の銀行各支店・地方銀行の応募作品・・・・・・・・・・ 11 点

（入賞作品内訳：大賞 1 点、優秀賞 1 点、佳作 3 点）

(イ) 花と緑等に関する展示

- ・ とやまの花品評会 25 点
- ・ チューリップ 20 品種、スイセン（11 系統）123 点、ラン 12 点
- ・ ホール花飾り など

(ウ) 花と緑の活用に関する体験教室の実施

- ・ 体験教室 「寄せ植え」、「花束づくり」
「フラワーアレンジメント」
- ・ 花と緑に親しむコーナー
「テラリウム」、「プランツギャザリング」
「押し花で作る小物」、「アロマテラピー」
「木工クラフト」、「木のおもちゃで遊ぼう」

(エ) 花と緑の銀行の事業関連

- ・ 表彰式・・・・・・ コンテナガーデンコンテスト、私の寄せ植え
- ・ オープニング、エンディングコンサート
- ・ 花の種無料貸し出し（215 人、計 1,780 袋）
- ・ パネル展示・・・ 令和4年度花と緑のコンクール入賞作品展
（ポスター原画 50 点、標語 22 点、花壇写真 53 点）

ウ 「第50回花と緑の大会」の開催

県民の緑化意識の高揚を図るため、花と緑の功労者及び花と緑のコンクール入賞者の表彰のほか、花と緑の講演会を開催した。

令和4年10月19日(水) 富山県民会館 参加者数 304人

「同時開催」 富山県花と緑のコンクール入賞作品及び花壇写真展示

(ア) 花と緑の功労者表彰 県知事表彰 個人 2名 団体 3団体
理事長表彰 個人 29名 団体 6団体

(イ) 花と緑のコンクール入賞者表彰

学校花壇の部	13校 (最優秀1, 優秀3, 優良3, 奨励3, 努力3)
幼稚園・保育所花壇の部	5施設 (最優秀1, 優秀3, 優良1)
プレミアム花壇の部	8団体 (最優秀賞1, 優勝賞5, 優良賞2)
一般花壇の部	16団体 (最優秀1, 優秀5, 優良5, 奨励5)
花の道の部	11団体 (最優秀1, 優秀3, 優良4, 奨励3)
ポスター原画の部	50名 (最優秀1, 優秀3, 優良6, 佳作40)
標語の部	22名 (最優秀1, 優秀3, 優良6, 佳作12)

(ウ) 花と緑の講演会

「儲かる花と緑のまちづくり」
講師 兵庫県立大学大学院
教授 平田 富士男

エ 花のまちづくり新拠点創出支援事業の実施

地域緑化活動面の広がり支援するため、新たな緑化活動のきっかけとなる花壇教室や緑化相談を行い、地方銀行を核とした花のまちづくりが創出されるよう支援した。

令和4年度花のまちづくり新拠点創出支援事業の実施状況

No	支店名	地方銀行名	日時	場所	内容
1	射水	小杉	①5月18日(水) 10:00～10:30 ②5月19日(木) 10:00～11:00	①あおい幼稚園(戸破西楠町1441-1) ②歌の森運動公園西側 広場花壇	①幼児が種ダンゴの作り方(土と水を混ぜて作った5cm程度の団子を平にし種をつけ、保護のためにシリカをつける)を学んだ。 ②公園の花壇に花苗を植え付けた。
2	黒部	内山	5月28日(土) 10:00～10:40	内山公民館(黒部市宇奈月町内山1260)	花壇体験教室(プランタにメランポジウムやペゴニア等の花苗を植栽)の実施した。
3	氷見	十二町1区	5月28日(土) 10:00～11:00	氷見市立十二町小学校(氷見市万尾485)	講師の指導により児童と保護者がバスケットに寄せ植えを行った。
4	富山	清水町	5月28日(土) 8:00～11:00	旭町公園(富山市旭町3)	地元講師の指導により地域住民が町内の既存の花壇に花苗を植栽した。
5	高岡	戸出	6月6日(月) 14:45～16:00	高岡市立戸出西部小学校(高岡市戸出町5丁目11-1)	5月26日に植栽計画を立案し、6月5日に花壇の土づくりとグリーンカーテン用のネットを張り、6月6日に地元のGKの指導により、栽培委員会の児童が既存の花壇に花苗を植栽した。
6	砺波	鷹栖	5月25日(水) 14:30～15:15	砺波市立鷹栖小学校(富山県砺波市鷹栖490)	チューリップ四季彩館の嶋田さんの指導により児童が既存の花壇に花苗を植栽した。
7	魚津	本江	10月29日(土) 13:30～15:00	魚津市立よつば小学校(魚津市本江1041)	地元の頭取の指導により児童が花壇体験としてプランターに花苗を寄せ植えした。
8	砺波	東山見	10月14日(金) 13:30～15:00	砺波市立庄川小学校(砺波市庄川町金屋1748)	東山見地区のGKの指導により児童が既存の花壇に花苗を植栽した。
9	砺波	青島	11月14日(月) 15:00～16:00	砺波市庄川町青島3939 砺波市立庄川中学校	地元のGKの指導により生徒が花壇体験としてプランターに花苗を寄せ植えした。
10	黒部	東布施	11月25日(金) 10:00～11:00	東布施公民館(黒部市阿弥陀堂529-1)	地元のGKの指導により公民館の既存花壇に花苗を植栽した。

オ 普及広報活動

- (ア) 広報誌「花と緑の銀行だより」の発行 年間4回 1回 3,800部
(10月号は3,000部)
- (イ) 普及啓発用ポスター・カレンダーの配布(地方銀行、小中学校等へ配布) 800枚
- (ウ) 花と緑に関する情報提供
ホームページにより、さくら開花情報、花だより、花と緑のイベント、草花や緑化木の管理等及び各施設の情報を提供した。
(公財)花と緑の銀行(<https://www.bgtym.org/fgbank/>)
富山県中央植物園(<https://www.bgtym.org/>)
県民公園「頼成の森」(<https://www.bgtym.org/ranjyounomori/>)

カ とやまの地域花壇の紹介

本県独自のスタイルである地域の花壇づくりを応援し、幅広く紹介するための花壇マップを希望者に配布したほか、ホームページでも優れた花壇を紹介した。

キ 「富山のさくら」名所づくり事業

- 本県のさくらの名所を県民のみならず県外から訪れる観光客などに広く紹介し、地域振興、観光資源としての活用を推進するため、県からの委託事業として実施した。
- (ア) 令和4年4月3日から4月17日にかけて、富山さくらの名所8箇所(富山県中央植物園、月訪の桜、百年桜、松倉城址、向野のエドヒガン、城端別院善徳寺、ふくみつ河川公園、森林研究所樹木園)においてさくら守の会員延べ70名を配置した。
- (イ) さくら守養成講座として、令和4年6月5日から10月30日にかけて9回の講座(サクラに関する知識、健康診断の方法と実技、樹勢回復の再生技術の講義と実技、病害虫とその対策の講義と実技、精密機器による樹木の内部腐朽診断、剪定に関する講義と実技)を実施した。12名の受講生全員が修了した。
- (ウ) (公財)花と緑の銀行のホームページにおいて富山さくらの名所70選の開花情報を発信した。(3月中旬～5月中旬)

3 花と緑をすすめる事業

6,314,000 円

花と緑の指導者育成事業

6,314,000 円

ア 新任頭取・グリーンキーパー研修

新任頭取・グリーンキーパーを対象に、その役割の理解醸成、花と緑に関する知識・技術の向上のため、研修を実施した。

令和4年5月19日（木） 富山県民共生センター サンフォルテ

受講者 106名

- ・講座1 「花と緑の元気とやま推進プラン」の概要 森林政策課
- ・講座2 「花と緑の銀行の活動について」 普及研修部
- ・講座3 「花のまちづくり活動事例」 北蟹谷地方銀行頭取 川原 俊昭 氏
- ・講座4 「花壇づくりのポイント」 花総合センター 舘 睦美 氏

イ 頭取・グリーンキーパーブロック研修

頭取・グリーンキーパーを対象に、花と緑に関するより豊富な知識を得るための研修を実施し、地域のリーダーとしての自覚と意識高揚を図った。県東部、県西部、県中部の3会場で実施した。

- ・県東部 令和4年6月17日（金） 新川文化ホール

受講者 84名

演題：花の庭づくりの科学 ～植物の生理と花壇管理～

講師：職藝学院 教授 渡邊 美保子 氏

- ・県西部 令和4年6月28日（火） クロスランドおやべ

受講者 221名

演題：なぜ花や緑は社会に必要なのか ～心と体にやさしい花と緑の力～

講師：千葉大学大学院園芸学研究院 准教授 岩崎 寛 氏

- ・県中部 令和4年6月29日（水） 富山県民共生センター サンフォルテ

受講者 123名

演題：花のまちづくりを通じて ～花のまちづくり事例紹介～

講師：（公財）日本花の会 上級研究員 小山 徹 氏

ウ 頭取・グリーンキーパーステップアップ研修

現在活動している頭取・グリーンキーパーを対象に、花と緑についての専門知識を深める実践的な研修を実施し、地域のリーダーとして総合的な地域緑化を担う人材となるよう努めた。

4月～11月 全20回 修了者 29名（全員）

○ステップアップ研修実施内容

回	月日	区分	研修内容
1、2	4月13日	全日	開講式 花のまちづくり1（講義） 花壇づくりの基礎知識1（講義） 花壇デザインのポイント 1
3、4	4月27日	全日	花壇づくりの基礎知識2、3（講義） 花壇デザインのポイント 2
5	5月11日	午前	花壇実習1（土壌診断、土づくり）
6	5月25日	午前	花壇実習2（施肥・定植）
7、8	6月8日	全日	植物管理の基礎知識（講義） 花壇実習3（マルチング、補植）
9	6月22日	午前	花壇実習4（メンテナンス作業）
10	7月6日	午前	花壇実習5（メンテナンス作業）
11	7月20日	午前	花壇実習6（メンテナンス作業）
12	8月3日	午前	花壇実習7（メンテナンス作業）
13	8月17日	午前	花壇実習8（メンテナンス作業）
14、15	8月26日	全日	花のまちづくり2（現地視察 長野県大町市）
16	8月31日	午前	花壇実習9（メンテナンス作業）
17	9月21日	午前	花壇実習10（メンテナンス作業）
18	10月15日	午前	花壇実習11（メンテナンス作業）
19	11月9日	午前	花壇実習12（撤去作業、宿根草の株分け）
20	11月16日	午前	花のまちづくり3（講義） 閉講式

エ フラワーグリーンバス教室

県内外の優れた緑化活動の実践現場を視察し、緑化推進手法及び技術の向上を図った。

日 時：令和4年9月6日（火）

場 所：①県内プレミアム花壇

・五ヶみちグループ花壇（砺波市）

・八尾園ふれあい花壇（富山市）

②牧歌の里（岐阜県郡上市）

参加者：60名（新型コロナウイルス対策の観点から人数を減らして実施）

オ 支店活動推進会議及び現地課題研修の支援

各支店主催の頭取・グリーンキーパーの活動推進会議に出席し、本店の取組み及び支店活動推進事業の説明を行った。 7支店

<参考>

令和5年4月1日現在 頭取：308名、グリーンキーパー：1,930名 合計2,238名
(暫定値)

Ⅱ 富山県中央植物園の管理運營業務(公益目的事業2)

348,524,654 円

中央植物園は、植物公園ネットワークの中核施設として設置された施設であり、植物の収集・展示、調査研究、教育普及の3つの事業を行う日本海側初の総合植物園として平成5年に開園した。令和4年度から第5期指定管理に入り、またコロナ禍も3年目となり感染対策に留意しながら、特別展や新規企画展の実施、SNSも含めた県民への情報発信、栽培技術の工夫による植物生育状況の改善に取り組んだ。

令和4年度の新たな取り組み

(1) 新たな指定管理期間開始

令和4年度は第5期指定管理期間の1年目が始まった。前年度までに比較して委託費の増加、燃料費等の高騰により指定管理経費は大変厳しい状況が予測されたため、予算執行にあたりすべての事業について経費削減を意識し管理を行った。年度後半には、30周年記念行事に向けてイギリスのサクラ植栽予定地への移植などを行った。

(2) 新規企画展：環境省アクティブ・レンジャー写真展の開催

新たな企画展として環境省信越自然環境事務所と共催で、管内の3国立公園（上信越高原、妙高戸隠連山、中部山岳）のアクティブ・レンジャーが撮影した写真を展示したところ、夏の登山シーズン前とタイミングがよく、入園者に好評であった。

(3) 特別展「桐野秋豊ツバキ資料展—八尾が生んだツバキ研究家」の開催

富山市八尾町出身で前日本ツバキ協会会長の故桐野秋豊氏を紹介する特別展を2回行い、9月～10月に開催した特別展Ⅰでは、研究ノートや写真、植物画などの調査研究資料などを展示し、ツバキに魅了された桐野氏の人物像を紹介した。展示に先立ち植物コレクションの寄贈に対して知事より桐野夫人に感謝状の贈呈が行われた。

また、関連行事の植物フォーラムにおいて、ツバキコレクションの導入や桐野氏の研究の紹介、箱田ツバキ協会会長、桐野夫人らによる座談会を行った。

(4) 友の会例会の開催

友の会の新規行事として、種苗交換や職員による企画展展示解説を行う例会を原則月に1回開催したところ、コロナ禍でも可能であり、会員同士の親睦が図られることから好評であった。

(5) 栽培温室灌水用中水水質改善

植物園の中水のpHは8.0程度と弱アルカリ性であり、栽培植物の葉の黄白化など悪影響を及ぼしていた。令和3年度に栽培温帯温室内で希硝酸を用いてpH6.5の微酸性に調整した中水で灌水し、12種の植物について生育を1年間追跡調査した結果、葉緑素量が増加し葉色が緑に改善した。そこで令和4年度中に栽培温室全棟に順次、中水酸性化用設備を整備し、日常の灌水に使用している。

(6) ビワモドキの初結実

熱帯雨林植物室のビワモドキ（ビワモドキ科：インド～マレー半島原産）が、9月上旬に10輪ほど開花し、そのうち3個が初めて結実した。

(7) 展示ラン温室リニューアル

ラン温室の入口側部分の既存コンクリートポールを撤去、木材で作った背景でナチュラルな雰囲気を演出し、原種や原種に近いランを展示するようにした。

(8) (公社) 日本植物園協会オンラインツアーでの動画公開

日本植物園協会教育普及委員会で昨年度より実施しているオンラインツアーに新規参加し「#植物園の花見旅」、「#植物園のクリスマス」に撮影した動画を投稿し、Youtube 植物園協会公式チャンネルで公開した。

1 施設の維持管理

2 植物の管理（屋外展示園、展示温室、栽培温室等）

収集展示植物 約 4,900 種 102,037 株

・日本の植物ゾーン

サクラ、ウメ、コナラ、ブナ、カタクリ、エッチュウミセバヤ、ユキツバキ等

・世界の植物ゾーン（展示温室を含む）

ボタン、シャクヤク、シナユリノキ、キョチク、バオバブ、トウツバキ等

・花のプロムナード

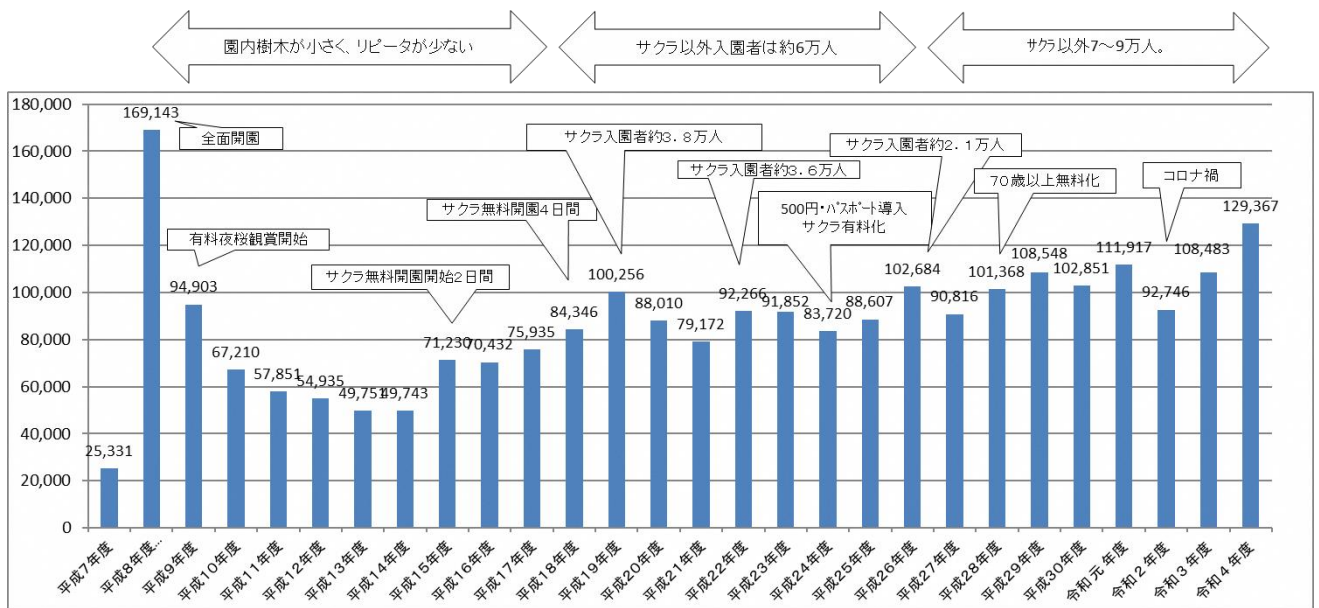
ソメイヨシノ、サトザクラ、フジ等

3 入園者の状況

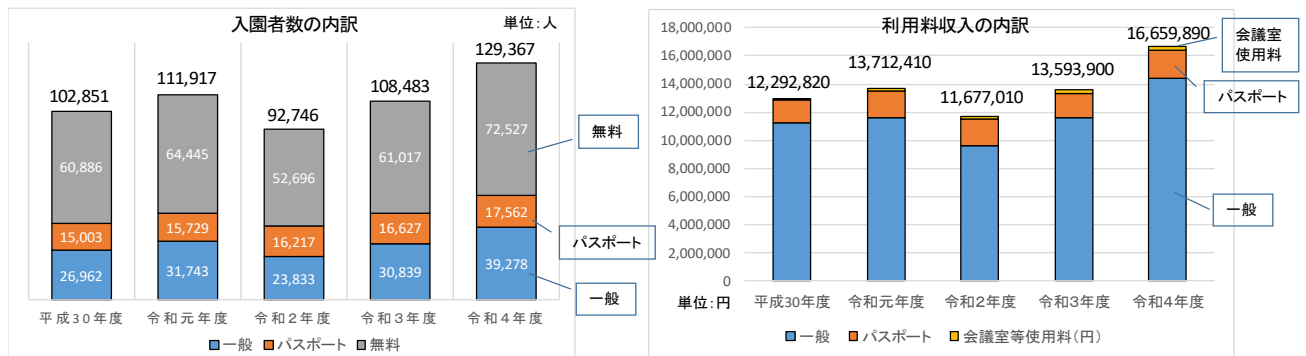
コロナ禍も3年目となり感染対策をしながら、外出する習慣が多くの方に根付いたと思われる。令和3年度後半から植物園は密にならずに楽しめる施設と認識され、入園者数が増加傾向となっていた。令和4年度は4月のさくらまつりが過去最高の入園者数となったほか、天候の良い春、秋や、令和5年3月にさくらが満開となったことから、年度末の入園者が多く、総入園者数は129,367人と平成8年の全面開園後2番目に多くなった。

来園者（令和4年4月～令和5年3月）	131,021名
内 訳	
（ア）入園者数	129,367名
・ 有料入園者数	39,278名
・ 年間パスポート、友の会	17,562名
・ 無料入園者数（減免、視察など）	72,527名
うち70歳以上	41,141名
（イ）施設利用者数	
研修室、実習室等有料利用者	1,654名

入園者数の年度別推移



直近5年間の入園者数と利用料収入の内訳



4 植物園活動業務

(1) 植物の収集・自生地採取

購入により入手が困難な植物採取
種子交換用植物等の種子採取

(2) 教育・普及

ア サンライトホール企画展・特別展

(注: 数字は期間中の入園者数)

- ・おかえり&はじめまして。英国から来たサクラたち (3/18~4/20)

32,269名

イギリスから導入したサクラ15種類について写真とパネルで紹介

- ・第40回ツツジ・シャクナゲ展 (4/22~4/24) 1,558名

日本ツツジ・シャクナゲ協会富山県支部と共催で、色彩豊かなツツジ・シャクナゲの仲間150鉢を展示

- ・第43回春のラン展 (5/1~5/3) 2,473名

富山県蘭協会と共催でエビネや春に咲く洋ランなど233鉢を展示

- ・春のサボテン・多肉植物展 (5/6～5/8) 1,842 名
 富山サボテン会と共催で、サボテンと多肉植物 261 鉢を展示
- ・私の植物画展 (5/13～6/1) 7,121 名
 公募により一般から応募された植物画 128 点を展示
- ・第 37 回イワチドリ・山野草展 (5/13～5/15) 1,304 名
 富山県ウチョウラン保存会と共催で、イワチドリや山野草など 190 点を
 展示。会場はドリアスホール
- ・さつき・盆栽展 (6/3～6/5) 1,384 名
 富山臯月会および日本盆栽協会富山支部との共催により、盆栽を展示
- ・第 40 回ウチョウラン展 (6/17～6/19) 1,167 名
 富山県ウチョウラン保存会と共催で、ウチョウラン 186 株を展示
- ・環境省アクティブ・レンジャー写真展 (6/24～7/20) 3,590 名
 環境省信越自然環境事務所と共催で、管内の 3 国立公園でアクティブ・
 レンジャーが撮影した写真 40 点を展示
- ・第 7 回夏のラン展 (7/9, 10) 601 名
 富山県蘭協会と共催でフウランや遅咲きウチョウランなど 108 鉢を展示
- ・特別展 I 「桐野秋豊ツバキコレクション展ー八尾が生んだツバキ研究者」
 (9/9～10/19) 9,978 名
 富山市八尾町出身で前日本ツバキ協会会長の故 桐野秋豊氏の研究ノー
 トや写真、植物画などの調査研究資料を展示
- ・第 55 回富山県おもと展 (10/21～10/23) 1,163 名
 日本おもと協会富山県支部と共催で、オモト 251 点を展示
- ・秋季さつき・盆栽展(10/28～10/30) 1,290 名
 富山臯月会のさつき盆栽、日本盆栽協会富山支部の盆栽を展示
- ・第 34 回ボタニカルアート展 (11/1～11/9) 2,758 名
 友の会植物画部会員 34 名による植物画作品 58 点うち 36 点は「身近な
 薬草」をテーマに特別展示
- ・第 5 回サボテン・多肉植物展(11/11～11/13) 1,471 名
 富山サボテン会と共催でサボテンと多肉植物 210 点、自生地の写真を展示
- ・第 16 回秋のラン展 (11/18～11/20) 1,310 名
 富山県蘭協会との共催でカンランや洋ラン 192 点を展示、「カトレヤ・
 ラビアタ～はじまりのカトレヤ～」を特別展示
- ・クリスマスの植物の展示 (12/5～12/24) 2,205 名
 200 鉢の入善町産ポインセチア、砺波市産のシクラメン 100 鉢を用いて、クリス
 マスの装飾を実施
- ・花と緑のコンクール入賞作品展(12/9～12/25) 2,026 名
 花と緑のコンクールで入賞したポスター原画、標語、花壇コンクール作品を展示
- ・第 10 回新春カトレヤ展 (1/6～1/9) 1,475 名
 COT と共催でカトレヤの原種を中心に特別展示「10 周年記念紅白のカ

トレヤ」など 104 点を展示。

- ・令和 4 年度研究発表展 (1/13~2/22) 6,954 名
職員の研究成果をポスター形式で展示
- ・私の植物写真展 (1/13~2/22) 6,954 名
植物園内で撮影した写真を一般から募集し、48 点を展示
- ・第 10 回クリスマスローズ展 (2/24~2/26) 2,223 名
クリスマスローズの園芸品種約 200 鉢と 10 回記念で「クリスマスローズの原風景」と題し、原種の展示と自生地の写真を展示
- ・第 51 回蘭まつり大会 (3/3~3/5) 4,496 名
富山県蘭協会との共催で洋ラン、東洋ラン 324 点を展示。「ランと牧野富太郎 I」を特別展示
- ・第 19 回雪割草富山県大会 (3/10~3/12) 2,787 名
富山雪割草の会との共催で、会員が栽培した多様な雪割草 155 点を展示
特別展「雪割草の覆輪咲き」を開催
- ・特別展 II 「桐野秋豊ツバキコレクション展ー八尾が生んだツバキ研究家」
(3/17~3/29) 10,983 名
見頃を迎えた桐野氏より寄贈されたツバキを展示 桐野秋豊氏の写真、植物画など資料を展示
- ・牧野富太郎にちなんだサクラ (3/24~3/31) 9,030 名
「日本の植物学の父」で令和 5 年春の NHK テレビドラマの主人公のモデルとなっている牧野富太郎が発見・命名したサクラなどを紹介

イ 特別開園・特別行事

(注：数字は入園者数)

- ・第 11 回さくらまつり (4/7~4/10) 21,964 名
園内のソメイヨシノの開花時に合わせ、特別入園料 200 円、開園時間を午後 9 時半までとして実施。サクラの開花状況が良く天候に恵まれ、多くの入園者があった。
- ・「県民ふるさとの日」記念無料開園 (5/9) 585 名
「県民ふるさとの日」を記念し無料開園
- ・夜間開園「ゲッカビジン観賞」(7/2, 3) 364 名
ゲッカビジンの開花に合わせ 2 年ぶりに開催
- ・夜の熱帯植物探検 (8/19, 20) 335 名
夜に咲く花、香る花、夜に閉じる葉を観賞するため、2 年ぶりに開催
- ・クリスマスフェア (12/3, 4) 1,331 名
鉢花や農産物の販売、クリスマスリースづくり、クイズラリー、友の会会員向け福引を開催

ウ 講座、講習会等

(注：数字は参加者数)

- ・栽培講習会「シャクナゲの植え替えと管理」(4/23, 24) 47 名
ツツジ・シャクナゲ協会会員を講師に、植え替えや接木のやり方について講習

- ・栽培講習会「ランの植え替えと管理」 (5/3, 4) 45 名
富山県蘭協会会員によるエビネと洋ランの栽培についての講習
- ・植物画講習会 (5/21, 22) 23 名
豊田路子氏を講師に、初心者を対象に植物画の講習。
- ・植物写真教室「やさしい花の撮り方」 (5/28) 34 名
富山写真家協会と共催で植物写真の撮影方法を講習
- ・講演会「集まれ！富山の生き物調査隊」 (5/29) 38 名
富山県生物学会と共催で、研究者はどのような服装・装備・道具を使って仕事をしているかを紹介
- ・夏休み子ども企画森のクラフト (7/22～8/31) 1,746 名
どんぐりやまつぼっくりなどを使って工作できるコーナーを設置。
(数字は実際の体験者数)
- ・夏休み特別企画「オオオニバスに乗ってみよう」 (8/5～7) 951 名
児童たちが巨大なオオオニバスの葉に乗るイベントを実施。コロナ感染防止で接触を避けるため、仮設栈橋を設置し、参加者自身で葉に乗ってもらった
- ・特別展オープニング解説 (9/9) 24 名
特別展 I 開催初日に、担当職員が展示内容を解説
- ・ペットボトルを使ったツバキの挿し木 (9/25) 5 名
ペットボトルを使った簡易挿し木で講習
- ・第 30 回 TOYAMA 植物フォーラム (10/2) 62 名
桐野ツバキコレクションの導入や桐野氏の研究の紹介、座談会を行った。
- ・栽培講習会「おもとの植え替えと管理」 (10/22, 23) 25 名
(公社) 日本おもと協会富山県支部会員によるオモトの栽培講習
- ・栽培講習会「ランの植え替えと管理」 (11/20) 24 名
富山県蘭協会の会員によるカンランと洋ランの栽培についての講習
- ・植物園でバードウォッチング (12/4) 41 名
日本野鳥の会富山と共催で、植物園で見られる野鳥の観察会を開催
- ・散らない桜カード配布 (1/7) 300 名
コシノフユザクラの押し花で作ったカードを 300 枚用意し希望者に配布
- ・Zoom リモート講演カトレヤの栽培管理 (1/7) 23 名
(株)小島舎 Seedpot の小島研二氏がカトレヤの交配や栽培管理についてリモート講演
- ・カトレヤ栽培講習会 (1/8, 9) 24 名
カトレヤ展の展示解説と栽培管理について解説
- ・令和 4 年度研究発表会 (1/29) 38 名
植物園の職員が行っている研究について研究成果を発表
- ・栽培講習会「クリスマスローズの栽培と管理」 (2/25, 26) 128 名
雪国富山でのクリスマスローズ栽培について解説
- ・栽培講習会「ランの植え替えと管理」 (3/4, 5) 79 名
東洋ラン、洋ランの栽培講習会を 2 回ずつ 4 回開催

- ・栽培講習会「雪割草の栽培と管理」 (3/11, 12) 46名
雪割草の栽培講習会を開催

エ コンサート

ドリアスコンサート、クリスマスフェアコンサートは新型コロナ感染対策により中止

オ 月例行事

- ・植物ガイドボランティアと歩く植物園― (毎週日曜日) 36回 255名
毎週1回入園者にボランティア、職員が見頃の植物を案内
- ・植物ガイド―園長と歩く植物園― (毎月第3日曜日) 12回 160名
毎月第3日曜日の13:30から14:00に園長が見頃の植物を案内

カ 植物園クラブ

- ・食虫植物を育てよう (7/24, 25) 86名
食虫植物の解説とハエトリグサの栽培方法について解説
- ・顕微鏡・電子顕微鏡で植物を観察しよう (7/31, 8/1) 38名
顕微鏡と電子顕微鏡でオニユリやムクゲなどの花粉を観察
- ・草木染めをしよう (8/21, 22) 71名
カリヤスの葉で綿のハンカチを煮染め、絹のハンカチをアイで生葉染め
- ・カリンバを作ろう (8/27, 28) 71名
武部洋明氏を講師に、木材とヘアピンなどでカリンバづくり
- ・どんぐり拾い (10/8, 9) 80名
ドングリの種類について解説し、園内でドングリを拾い、その後に工作
- ・かぼちゃのチョウチンづくり (10/22, 23) 88名
ハロウィンにちなんでかぼちゃをくりぬいてチョウチンを作成
- ・クリスマス飾りを作ろう (11/26, 27) 85名
フジづる、マツボックリなどの植物を使ったクリスマスリースを作成
- ・正月飾りを作ろう (12/17, 18) 41名
藁を編んでしめ縄を作り、マツや水引などで飾りをつけしめ飾りを作成

キ ボタニックガーデンクラブ

- ・夏を元気に彩る寄せ植えづくり (6/18) 22名
千華園の石村修子氏を講師に、夏向け花苗で寄せ植えづくり
- ・植物でウールを染める (9/18) 9名
(株)ニッケテキスタイルの協力で、ウール生地をカリヤスやオニグルミなどで染める講習。
- ・多肉植物で楽しい寄せ植えづくり (10/16) 25名
生きている石ともよばれるリトープス苗6種を用いて寄せ植えづくり

- ・ソープカービング（12/11） 14名
フルーツカービング教室いろはの中島淳氏を講師にポインセチアなどのソープカービング体験を実施

ク 学校教育支援

- ・学校等への教育支援活動
オリエンテーリング、どんぐり工作など 50団体 延べ 2,503名

ケ 団体対応

- ・来園した団体へ概要説明、ドリアス講座など 27団体 延べ 791名

コ 写真撮影来園対応

- ・結婚式前撮り、家族写真撮影、モデル撮影など写真撮影のため来園した団体への対応 117団体 延べ 857名

サ 研修等

- ・博物館実習（7名）
内訳：富山大学（5名）、東京農業大学（1名）、岐阜女子大学（1名）
- ・11年次教員研修 4名
- ・社会に学ぶ14才の挑戦（4校、20名）
内訳：速星中学校（10名）、西部中学校（3名）、城山中学校（4名）、芝園中学校（3名）
- ・富山市教育センター婦中適応指導教室指導（39回延べ342名）

（3）地域との連携

ア ファボーレとの連携

- ・ファボーレタイアップによる地域周遊促進企画
ゴールデンウィークと夏休み期間にスイーツ割引クーポンの配布、太陽の広場大型ビジョンで期間中のイベント紹介。同時に園内ココナッツアイランドの100円割引券を配布した。
- ・ゲッカビジン特別展示
「ときめきの広場」でゲッカビジン鉢とパネル展示、ファボーレHP掲載、館内放送で告知

イ 鶺坂地区との連携

- ・鶺坂体協主催ウォーキング大会の開催 5月29日
- ・鶺坂児童会どんぐり工作等 6月26日
- ・富山西警察署主催防犯ボランティア出発式の開催 10月11日

ウ 婦中町との連携

- ・婦中っ子まつり代替イベント開催（婦中町青少年育成協議会主催）10月1日

(4) 情報提供

ア ホームページによる情報提供 年間アクセス数 136,758 件 (R3:110,262 件)
公式インスタグラムフォロワー数 2,503 人 (R3:1,940 人)

イ 植物相談(令和4年4月～令和5年3月) 178 件
・ 県民からの植物同定や栽培相談 152 件
・ マスコミからの問い合わせ 19 件
・ 植物関係者からの問い合わせ 7 件

ウ 出版

- ・ 事業概要第24号 令和3年度版 令和4年6月 pdf ファイルをHPで公開
- ・ 植物園だより No.104～No.107
- ・ 研究報告28号 令和5年3月発行
- ・ リーフレット
富山県立富山北部高校情報デザイン科にデザインを依頼 20,000 部印刷
- ・ イベントチラシ
夏休み用 35,000 部、秋冬イベントチラシを 39,000 部印刷し、県内小学校、公共施設に配布
令和4年度分イベントチラシを4半期ごとに6月、9月、12月に印刷

エ データベース

導入植物や文献・標本の登録

オ インフォメーション

園内サンライトホールのインフォメーションコーナーで見ごろの花や場所などの案内、ドリラスショップで植物苗や絵はがき等の販売

カ マスコミへの情報提供

- ・ マスコミにイベント案内や開花情報を提供 54 件
- ・ 関連記事の新聞記事掲載 190 件

キ 新聞等への寄稿

- ・ 読売新聞富山版に「植物はおもしろい」を月1回連載
- ・ 富山県いきいき長寿財団情報誌 VITA[富山花とみどり探訪]
9月、3月に掲載

ク ラジオによる情報提供

- ・ KNB ラジオ隔週水曜日生CMを26回放送、スポットCM45本、生中継2回
- ・ FMとやま毎週第2水曜日「植物園探検」を12回放送
- ・ 富山City FM 月1回生中継12回、スポットCM120本放送

ケ 広告の掲載

新聞、雑誌、インターネットによる広告出稿 12回

コ ファボーレ内植物園掲示板による情報提供

- ・ポスター、見頃の植物の掲示、パンフレット、チラシ、植物園だより等の配布
随時(週1回以上) 掲示の更新及びパンフレット類を補充

(5) 調査、研究

ア 調査研究

(ア) 富山県の植物相と植生に関する調査

- ・立山一ノ越のタテヤマキンバイの現状 2022
- ・富山県のヤエイチリンソウについて
- ・ベトナムのハーブ「キンゾイ」は富山県のナギナタコウジュと同じものか
- ・植物園と水族館の協働によるアマモ場の生態系保全の普及と啓発
- ・倍数性・生育地の異なるコケモモ2タイプの発芽特性
- ・立山における特定植物群落選定40年後の現状(4)
- ・植物園と水族館の協働による海洋生態系保全の普及と啓発—海草群落の展示とその効果のアンケート検証
- ・立山植生モニタリング外来植物モニタリング調査
- ・モニタリング1000高山植物調査
- ・Flavonoid glycosides from *Hylotelephium sieboldii* var. *sieboldii* and var. *ettyuense* endemic to Japan
- ・富山市で見出されたタカサゴ系の新栽培品種「弥生高砂」(ヤヨイタカサゴ)
- ・「富山県植物誌改訂版編集のための維管束植物チェックリスト」の印刷配布と学会等での発表・普及
- ・富山県でのツヤハダゴマダラカミキリの発生について
- ・山田川流域におけるフロラ調査
- ・分布末端における高山植物コケモモの交配システム変異

(イ) 絶滅危惧植物の実態調査及び増殖に関する研究

- ・暖温帯・亜熱帯産国内希少野生動植物種の生育外保全
- ・The contrary conservation situations of two local critically endangered species, *Vaccinium emarginatum* (Ericaceae) and *Elatostema platyphyllum* (Urticaceae), growing on the eastern edge of the distribution

(ウ) 収集植物の特性調査と栽培・利用に関する研究

- ・シラシマメダケの葉の表皮構造
- ・Chromosome number of *Ficus virata* and *Ficus irisana* (Moraceae) of Okinawa Island
- ・日本産ハルリンドウの分類学的再検討

(エ) 導入植物の同定の利用、栽培管理に関する研究

- ・バックヤードの圃場における土のう袋栽培実験

(オ) 科研費

- ・地域集団の遺伝的多様性と気候変動へのレジリエンス：高山植物を用いた地域間比較」 研究分担者：和久井研究員

(カ) その他

- ・桐野秋豊ツバキ資料の導入 ーリバーサルフィルムでのデジタル化方法
- ・短編映画「富山田んぼ物語」の制作による植物園での稲作の展示
- ・「桐野秋豊ツバキコレクション」の導入とツバキ関連資料のデジタル化
- ・An introduction project of the Kirino Shūhō's *camellia* collection

イ 資料収集

文献（361点追加）、標本（1,426点追加）などの収集

(6) 植物園交流

ア 植物公園連絡協議会との連携

- ・合同研修会（3/2、於：氷見市海浜植物園 情報交換後、園内視察）
- ・総会（3/15、於：富山県中央植物園 内容：R4事業報告、R5事業計画を審議。バックヤードを視察）
- ・スタンプラリー（5/20～11/30） 達成者名 229名（昨年 296名）
5ヶ所以上達成者から抽選で10名の方に「各植物園の特色を生かした植物」を贈呈
- ・講演会の合同開催 新型コロナ感染拡大のため案内せず
- ・植物苗、種の交換・譲渡

イ 国内植物園交流（（公社）日本植物園協会との連携）

- ・第57回大会・総会 5/17～19 内藤記念くすり博物館（岐阜県）
（中田園長、高橋栽培展示課長補佐）
- ・第1回技術者講習会への参加 10/26～27 兵庫県立淡路夢舞台公苑温室 あわじグリーン館（原田栽培展示課技能主事）
- ・国公立園運営会議 11/18（オンライン）植物園協会加盟園第二分野のSDGsの取り組みについて情報交換（中田園長、兼本企画情報課長）
- ・第6回教育普及ワークショップ 2/13（オンライン）（吉田栽培展示課長他）
- ・教育普及委員会「植物園オンラインツアー」への参加
第3弾『植物園の花見旅』、第4弾『植物園のクリスマス』 Youtube 植物園協会公式チャンネルで公開
- ・日本植物園協会誌への投稿（志内栽培展示課長補佐、東企画情報課主任）
- ・植物園協会理事（中田園長）年3回理事会
- ・植物多様性保全委員会外来種導入対策分科会座長（中田園長）
- ・ナショナルコレクション委員会委員オンライン会議参加、3/5 京都府立植物園でのシンポジウム運営・参加（大原企画情報課長補佐）

- ・ワシントン条約放棄植物の管理
（公社）日本植物園協会を通じた経済産業省からの寄託管理 *Euphorbia* 苗の受入
- ・（公財）高知県牧野記念財団理事（中田園長）6/10、3/24 理事会
- ・筑波実験植物園運営委員会委員（中田園長）5/26 評議委員会

ウ 海外植物園交流

- ・昆明植物研究所との共同研究 とりまとめの推進
- ・オックスフォード大学植物園との相互交流 コロナ禍により休止中
- ・文献交換 文献送付と文献受入

（7）事業の検証

利用者及び有識者による令和4年度事業評価委員会を独自に開催（2/28）

委員からの主な意見

- ・解説版の多言語化は良い取り組み。英語版のホームページにも取り組むべき。
- ・外部資金の獲得についても資料に記載してほしい。
- ・小学生の自由研究の場となるような取り組みができると良い。
- ・年に何度か入園者全員にアンケートを配ることを検討してみてはどうか。
- ・事業全般的に年々充実しているが、職員への負担が心配。
- ・幼児も五感で感じる体験ができる施設でありがたい。
- ・生物多様性の保全に関してレッドデータブック改定も研究項目に加えてほしい。
- ・科研費の代表者として申請してもらいたい。

Ⅲ 県民公園頼成の森の管理運営業務（公益目的事業3）

55,320,202 円

花と緑の運動推進のシンボル施設として県民の方々に支持され、利用者に満足を得られる施設となるよう適正な管理に努めるとともに、総面積 115 ヘクタールに及ぶ広大な森林を生かした健康づくりの場、休養の場、体験学習の場を提供した。

令和4年度の新たな取り組み等

（1）案内看板のリフレッシュ

わかりにくかった第一駐車場入口の案内看板を増設したほか、老朽化し見にくくなった遊歩道の案内看板を取替えリフレッシュを図った。

（2）スギ展示林の間伐・枝打ち

スギ展示林について、令和5年度「森の祭典」会場に予定されたこともあり、間伐を行ったほか、枯れ枝落下による人的被害が発生しないよう枝打ちを行った。

（3）水生植物園の東屋等の整備（県事業）

県事業で、水生植物園の東屋屋根の塗り替えやトイレの洋式化工事が行われ、景観や利便性の向上が図られた。

（4）管理道陥没への対応

管理道ヒヨドリ線で陥没が発生（令和4年7月24日）したことから、通行止め措置、ブルーシート養生、迂回路案内を行うとともに、県へ報告及び災害復旧の働きかけを行った。

（現在、県事業で、花しょうぶ祭り等に向けて仮復旧工事を実施中。本復旧は花しょうぶ祭り終了後に実施予定）

1 施設の維持管理

2 県有林の管理

- ・スギ展示林の間伐・枝打ち 0.4ha、下刈り 5.0ha
- ・天然林の修景のための除伐 0.2ha
- ・遊歩道沿いの枯損木、倒木等の除去 約 50 箇所
- ・管理等のため軽四トラックを購入 1 台

3 植物の管理

- ・入口広場の芝生、植栽木の保護育成
- ・ハナショウブなど水生植物園の保護育成 ハナショウブ 600 品種 70 万株

4 自然や森林生態の学習体験

(1) 森林科学館での各種展示

森林の自然生態や頼成の森の四季などをテーマに常設展示

- (2) 第37回花しょうぶ祭り (6月10日~19日) 入場者 52,496名
ハナショウブ鑑賞、野点、オカリナ演奏、育て方講習会、即売会等

(3) 月例行事の実施

- ・ 守り人と歩く頼成の森 4月10日 参加者 15名
 <春の森の中を観察しよう> 春の森を散策しながら、花や若葉などを観察
- ・ 緑に親しむ集い 5月4日 参加者 83名
 遊歩道を散策し、クイズを解きながら、森の生き物、森林の効用を学ぶとともに、シイタケの植菌を体験
- ・ 守り人と歩く頼成の森 7月17日 参加者 29名
 <カブトムシウォッチング> 森を散策しながら、昆虫を観察
- ・ 野鳥と昆虫の観察会 7月24日 参加者 26名
 頼成の森、水生植物園内で野鳥・昆虫の観察会
- ・ 竹を使った工作教室 8月7日 参加者 10名
 竹で水鉄砲を作り、飛距離を競う
- ・ 木製楽器づくり教室 8月21日 参加者 18名
 杉材でミニ木琴づくりを体験、みんなでミニ演奏会
- ・ きのこと狩りと観察会 10月9日 参加者 26名
 きのを採集し、見分け方などを学ぶ
- ・ 頼成の森“感謝の集い” 11月13日 参加者 150名
 林内散策、ドングリ工作、オカリナ演奏会及びお楽しみ抽選会を実施
- ・ リースづくり教室 11月20日 参加者 17名
 自然素材を使った素敵なリースづくり
- ・ 干支づくり工作教室 12月4日 参加者 17名
 来年の干支「卯」の置物づくりを体験
- ・ ミニ門松作り教室 12月18日 参加者 23名
 お正月用のミニ門松づくりを体験
- ・ 竹スキーづくり教室 1月29日 参加者 15名
 孟宗竹で竹スキーをつくり、滑走を体験
- ・ 守り人を歩く頼成の森 2月5日 参加者 16名
 <冬の森の中を探検しよう> 冬の森をスノーシューで歩き、動植物などを観察

5 利用者数 (令和4年4月~令和5年3月)

県民公園頼成の森	入場者	147,388人
森林科学館	入館者	11,815人
バーベキュー施設	利用者	369人(57卓)